

現場資料

智頭用瀬トンネル北工事 トンネル内の自動計測

目的

二期線トンネル工事に伴う一期線トンネルへの工事影響の確認  
工事、発破時の既設トンネルでの振動測定

現場構成

事務所PC: データ表示、保存 警報管理 webデータ作成  
測点①(No.26+63.25): トリガー計測、最大値保存  
測点②(No.19+36.30): トリガー計測、最大値保存  
WEBサーバー: 経時データ表示 ダウンロード

作成したプログラムの  
クレジット

必要機能

測点

1分毎に最大値保存、事務所に転送  
トリガー起動時はデータ収録後、事務所に転送  
測定は振動速度 kine

事務所

1分毎最大値振動データ: 表示、グラフ表示  
トリガーデータ: 表示、保存、ダウンロード、  
警報メール発信: メールに測定値を記載  
管理値は2段階: 1次、2次管理値  
管理値は2kineを想定  
webデータ作成、アップロードは大畑プログラムにて

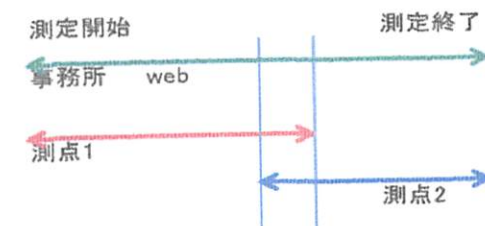
web

1分毎最大値振動データの表示、グラフ表示、保存、ダウンロード

計測情報

サンプリング周波数: 2000Hz  
チャンネル数: 3ch  
収録時間: プリトリガー5秒、収録時間30秒

計測開始時は事務所、測点①、webでの運用で開始  
工事が進行すると測点②に移設  
ただし、測点①から測点②に移設する際、  
2か月程度測点①と測点②を同時に計測する必要がある。  
同時計測が終わると測点②だけの計測になる。



2か月程度測点①と測点②を同時に計測

